

～保育士が働きやすい職場づくりに向けた取り組み 好実践事例～

★CASE 13★

島根県社会福祉協議会 島根県福祉人材センター

認定こども園

のぞみ保育園(江津市)

【保育園DATA】

- 所在地: 江津市都野津町2325-3
- 法人名: 社会福祉法人明蓮会
- 定員: 135名(2・3号:120名、1号15名)
※平成30年12月26日時点で在籍数133名
- 職員構成(保育士)
 - ・主幹保育士 1名・主任保育士 1名
 - ・正規職員 12名
 - ・嘱託職員 11名
 - ・パート職員 4名
 - ・保育助手 1名
- 法人内他施設
 - ・子育て支援センターのぞみ広場
 - ・江津市立めぐみ保育園(定員150名)
 - ・たまえ保育園(定員30名)



○ 松嶋寿枝 園長が大切にしていること

大人も子どもも
げんきいっぱい・えがおいっぱい

☆ 松嶋 寿枝 園長略歴 ☆

県外の保育園や江津市立保育所で勤務の後、平成5年「のぞみ保育園」の開園から(社福)明蓮会に入職。「江津市立めぐみ保育園(指定管理)」主任保育士、「のぞみ保育園」副園長を経て平成29年～園長に就任。現在に至る。

保育士がいいききと働ける環境を整備するために

○一人ひとりの「今」を大切に、元気いっぱい・笑顔いっぱいの保育園

私自身、子育てをしながら保育士の仕事を続けるなかで、職場に迷惑をかける事に心苦しさをを感じる時期もありました。そうした経験を経て子育てが一段落した今、職員には今しかない「今」を大切にしてほしいと思っています。子供の事や家族の事など職員それぞれに仕事と同じように大切な事や時があると思います。その大切な「今」を1人の判断で諦めず、まずは相談してほしいと伝えています。子育て中の楽しさは今しか味わえないし、若手職員にも両立できる姿を知ってほしい、そこを大切にしなければ保育士がいいききと家庭と仕事を両立する事は難しいと思います。職員皆が「今」を大切に、心と体にゆとりをもち、元気いっぱい・笑顔いっぱいの保育園になっていくよう園長として努めていきたいと思っています。

○職員間のコミュニケーションを深めるきっかけづくり

当園では、4月の第1回職員会議で新人職員や異動の職員も含め全職員が自己紹介を行っていますが、数年前から「最近ハマっていること」や「得意な事」「趣味」などを必ず一言付け加えて話すようにしています。『好きなアイドル』や『ハマっているスイーツ』『美味しいお店の情報』などの他『吹奏楽をやっていた』など日々の業務では知ることのできない各職員の意外な一面や様々な特技などを知る事ができ、それをきっかけに会話も増えて話が弾みます。ふとしたことで始まった取り組みですが、職員同士のコミュニケーションを深め、個性や得意な分野を保育に活かしてもらおう一つのきっかけとして、続けていきたい取り組みになりました。

園での取り組み紹介 ① 「保育士になりたい」思いを応援したい

当園では、保育士資格は無いけれど保育の仕事に思いや関心がある方々を、子育て支援センターや保育園の保育助手として雇用しています。保育現場で経験を重ねるなかで、これまでに3名の方が保育士試験にチャレンジして合格され、保育士となって現在も園内で活躍中です。

家庭と仕事を両立しながら試験勉強に取り組むのは容易ではないと思いますが、試験にチャレンジした職員からは「現場で働くことが資格取得へのエネルギーになった」「テキストで勉強した事よりも現場での様々な経験が役にたった」という経験談も聞かれています。

今後も「保育」の仕事に関心のある方々の幅広い雇用機会やサポート体制を整えることで、保育人材の確保・育成につなげていきたいと考えています。

園での取り組み紹介 ② 高校との連携～将来を担う人材育成を支える～

保育園には年間通じて多くの学生が職場体験などに訪れますが、町内にある江津高校では保育を含む福祉系を進路希望とする3年生が、授業の一環で毎月1回×7ヶ月間継続して訪れます。

保育に関心のある生徒たちが一定期間子ども達と関わる事で、保育についてより理解を深めた上での進路選択ができる良い取り組みだと思えます。

県西部地域には保育士養成校が無く県外の養成校に進学する生徒が多い現状ですが、ふるさとの保育の魅力をしっかり覚えてほしいとの思いで今後も大切に受け入れていきたいと思えます。

園での取り組み紹介 ③ 理解からつながる連携や協力を目指して

日々の保育や子どもさんの様子を保護者に知っていただく機会として「1日保育士」を行っています。行事の際にはどうしても構えてしまう子ども達ですが、保護者が半日程度子どもさんのクラスに入り時間をかけてふれあう事で、普段に近い様子を見てもらうことができます。入園式で保護者に主旨を説明し、年間通じて利用世帯の1/3程度の保護者が参加されており、最近はお父さんの参加も増えています。始めの頃は職員も緊張感がありましたが、近年は年間通じて学生や地域の方の来園も多い為、職員もこの環境に慣れ、普段通りの保育を見ていただく事を大切にしています。

☆職員の声☆



岩崎 愛子 先生

- ・保育士歴：1年目
- ・2歳児を担当

自身の子育てや子育て支援に関わる方々との出会いを通じて保育の仕事に興味を持ち、知人の紹介で「子育て支援センターのぞみ広場」の保育助手として働きながら保育士試験での資格取得を目指しました。試験を受ける為の実務経験を積むことができる職場があった事は資格取得にチャレンジする大きなきっかけでした。

平成29年に保育士試験に合格し、翌年からは保育士として2歳児を担当しています。家庭との両立など大変な事もありますが、家族の協力や子ども達の成長や笑顔を感じる日々が励みになっています。



大屋 さゆり 先生

- ・子育て支援センター
支援員(保育助手)：1年目

以前から子どもに関わる仕事に携わりたいという気持ちを持っていました。児童クラブの指導員を経て知人の紹介で法人内「たまえ保育所」の保育助手として勤め始め、平成30年4月から「子育て支援センターのぞみ広場」に異動となり、日々センターを訪れる子ども達やお母さん方との出会いに楽しく仕事をさせてもらっています。

働きながら保育士を取得する道がある事を知り、現在保育士試験での資格取得にチャレンジしています。日々の経験は、試験につながる学びも多く、資格取得に向けて頑張りたいと思います。

♪ 保育っていいな ♪ ～日々の1コマより～

お天気よくて
気持ちいいね!



ワアッ!
これ、セミ??



ここにもあるよ! あそこにも!
どんぐり みつけた



いい色
できたね!!

